

令和7年11月市議会 総務委員会資料

第192号議案 令和7年度長崎市一般会計補正予算（第4号）

目 次	ページ
【第2款 総務費 第1項 総務管理費 第6目 財産管理費】	
1 基金積立金	2～13

財 務 部
まちづくり部

令和7年11月

予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
22～23	2 総務費	1 総務管理費	6 財産管理費	1－1	基金積立金	千円 2,869,151

1 概要及び事業内容

(1) 財政調整基金の積立 569,151千円

ア 決算剰余金の積立

地方財政法第7条第1項の規定に基づき、令和6年度に生じた決算剰余金の2分の1相当額を積み立てるもの。

R 6 年度決算剰余金 1,138,300,505円 $\times 1/2$ = 569,150,253円 \div 569,151千円

※【参照】地方財政法第7条第1項

地方公共団体は、各会計年度において歳入歳出の決算上剰余金を生じた場合においては、当該剰余金のうち2分の1を下らない金額は、これを剰余金を生じた翌々年度までに、積み立て、又は償還期限を繰り上げて行なう地方債の償還の財源に充てなければならない。

イ 令和7年度財政運営のための基金の推移

区 分		R 6 末 現在高	R 7 積立額	R 7 取崩額	R 7 末 現在高
財政調整 基金	補正前の額 ①	千円 14,320,874	千円 106,689	千円 8,853,969	千円 5,573,594
	補正額		569,151	956,143	
	補正後の額 ②	14,320,874	675,840	9,810,112	5,186,602
(参考) 減債基金 ③		5,679,557	2,535,300	1,039,514	7,175,343
合計	補正前の額 (①+③)	20,000,431	2,641,989	9,893,483	12,748,937
	補正後の額 (②+③)	20,000,431	3,211,140	10,849,626	12,361,945

(2) 九州新幹線西九州ルート農業用渇水対策施設維持管理基金の積立 2,300,000千円

ア 概要

九州新幹線西九州ルート建設事業のトンネル工事に起因し、平成26年頃から東長崎地区において農業用水の渇水が発生したことから、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構九州新幹線建設局（以下「機構」という。）が機能補償として井戸や貯水タンク、送配水管などの農業用渇水対策施設（以下「対策施設」という。）を整備している。

対策施設については、その大部分を令和8年度から本市が維持管理することとなっており、令和7年度末に機構より移管を受ける予定となっている。

対策施設の維持管理等に要する費用については、国の補償基準に則り令和7度末に機構より本市に補償金として支払われることになるため、その補償金を基金へ積み立てるもの。

イ 事業内容

補償金収入に係る積立金の増 2,300,000千円

対策施設の維持管理に要する費用として、機構より受領する補償金を基金へ積み立てるもの。

・補償金 2,300,000千円

ウ 令和7年度基金現況（九州新幹線西九州ルート農業用渇水対策施設維持管理基金）

区 分	R 6 末 現在高	R 7 積立額	R 7 取崩額	R 7 末 現在高
	千円	千円	千円	千円
補正前の額	—	—	—	—
補正額		2,300,000	—	
補正後の額	—	2,300,000	—	2,300,000

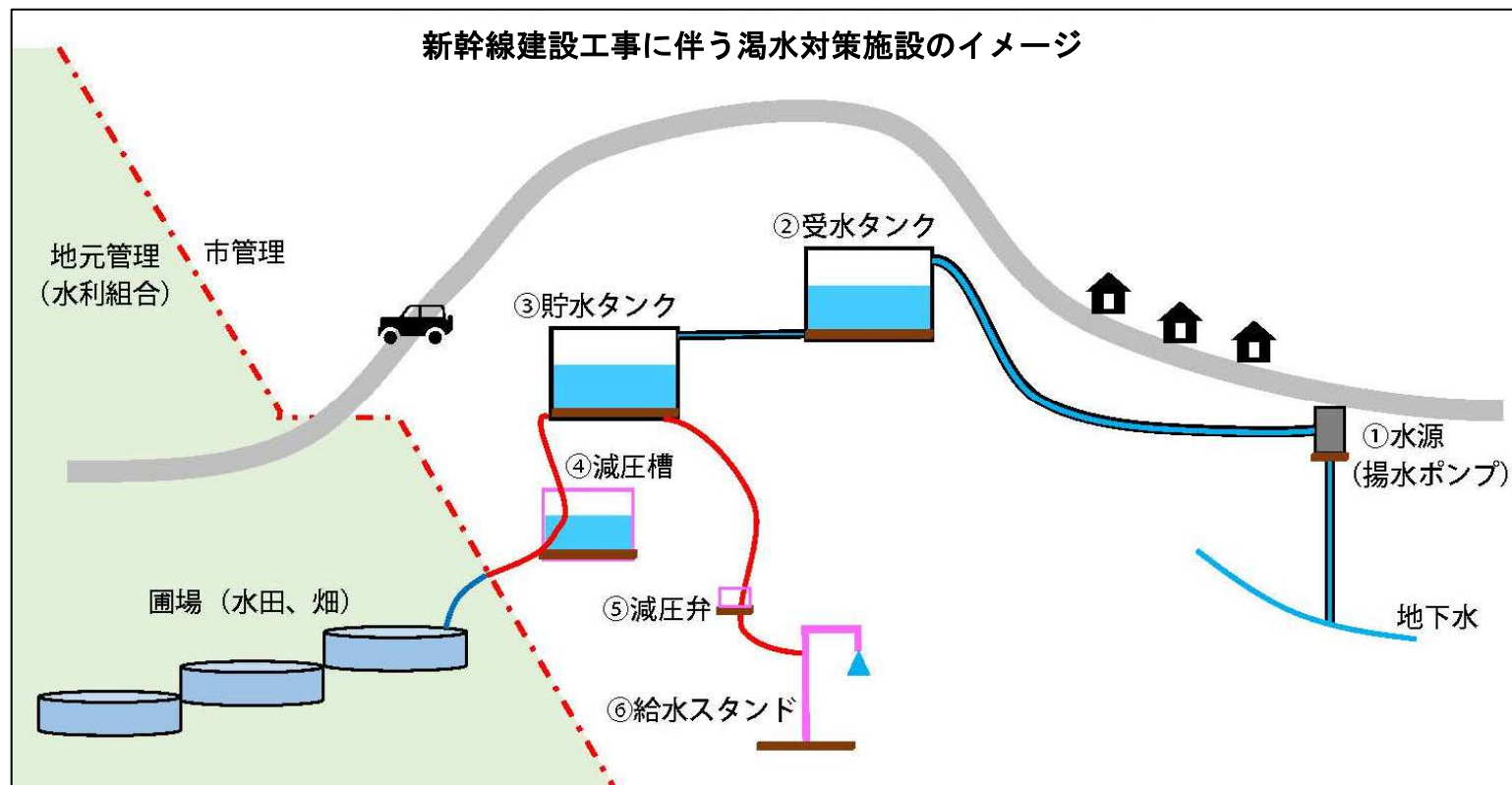
2 参考

(1) 渇水対策の概要

ア 位置図



イ 対策施設について



施設名	機 能
① 水源 (揚水ポンプ)	地下水を汲み上げる場所 (井戸、トンネル湧水)
② 受水タンク	水源から取水した水を一旦貯めるための水槽
③ 貯水タンク	水源または受水タンクから送られた水を、再度貯めるための水槽
④ 減圧槽	貯水タンクと圃場 (水田、畑) の高低差による水圧を調整するための水槽
⑤ 減圧弁	貯水タンクと圃場 (水田、畑) の高低差による水圧を調整するための設備 (減圧槽を設けない場合)
⑥ 給水スタンド	圃場 (水田、畑) とは別に給水を行うための設備

ウ 対策施設の写真

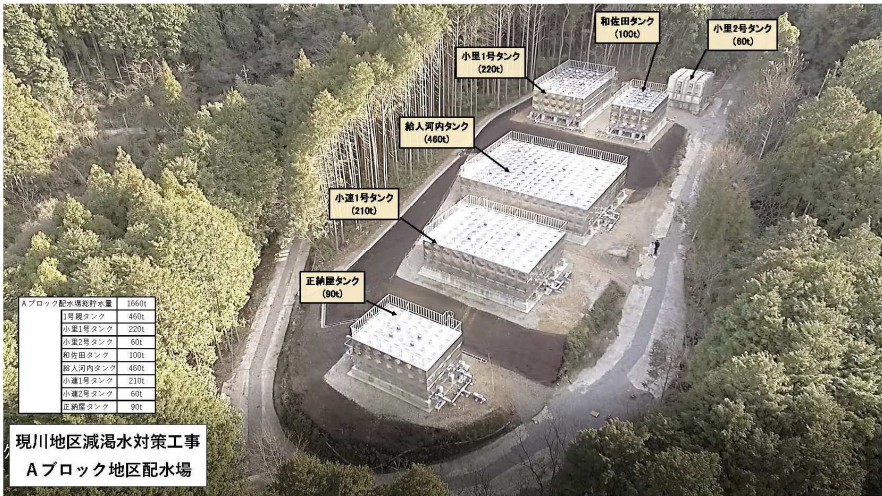
①水源（揚水ポンプ）



②受水タンク



③貯水タンク



※代表的な施設の写真を抜粋

④減圧槽



⑤減圧弁



⑥給水スタンド



※代表的な施設の写真を抜粋

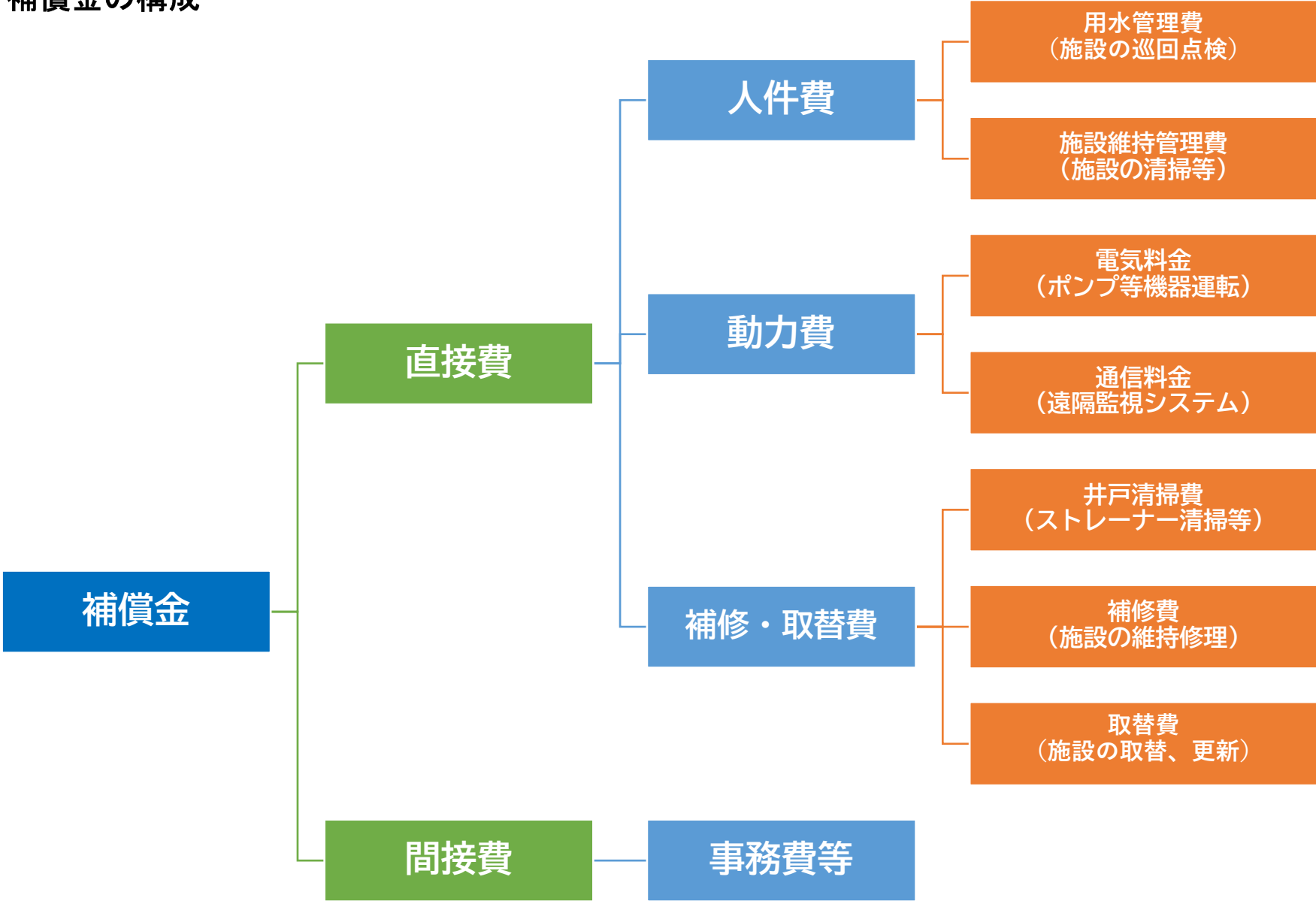
(2) 対策施設一覧

対策施設一覧表

地区	水源		水槽		送水管	配水管	減圧槽	減圧弁	給水スタンド
	井戸	トンネル湧水	受水タンク	貯水タンク					
現川地区	11	1	7	14	4,800	13,500	1	2	5
榎木地区	0	1	1	1	510	370	0	0	0
中里地区	3	0	1	1	500	150	0	0	1
船石地区	4	1	2	3	570	1,500	0	0	3
合 計	18	3	11	19	6,380	15,520	1	2	9
	21箇所		30箇所		約21,900m		3箇所		9箇所

(3) 補償金の概要

ア 補償金の構成



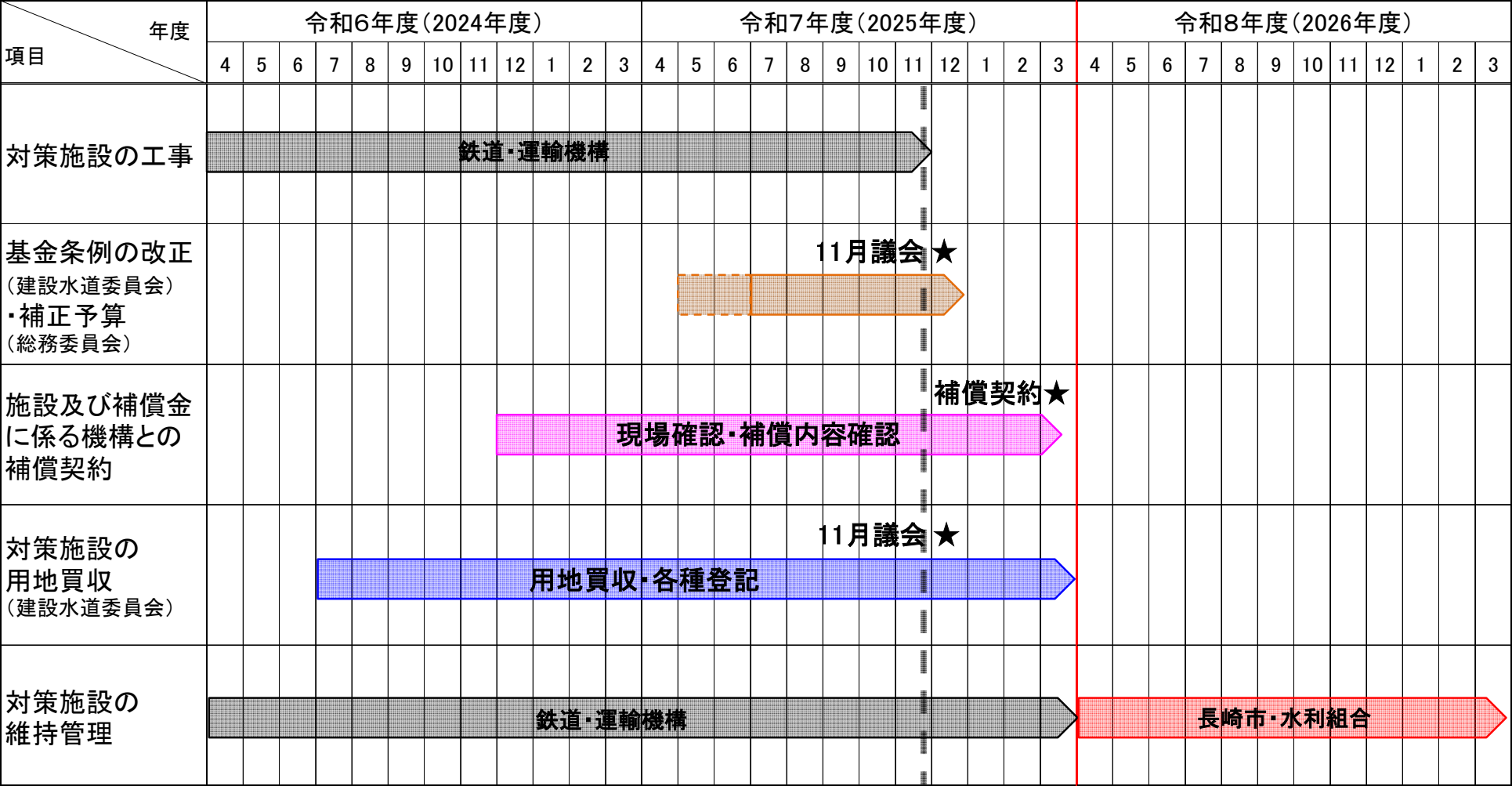
イ 補償金の内訳

(単位：千円)

地 区	現川地区	榎木地区	中里地区	船石地区	合 計
人件費	563	334	103	175	1,175
動力費	7,494	197	747	1,581	10,018
補修・取替費	44,542	1,055	5,630	14,516	65,743
事務費等	7,890	238	972	2,441	11,541
補償金（年間）	60,490	1,823	7,451	18,714	88,477
補償金(概算額)※	1,550,000	50,000	200,000	500,000	2,300,000

※金額は機構と協議中のため概算額としている。

(4) スケジュール



※ スケジュールについては、変更が生じる場合があります。

現在

3 財源内訳

区 分	事 業 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
補正前の額	千円 3,466,357	千円 —	千円 —	千円 19,800	千円 3,100,813	千円 345,744
補正額	2,869,151	—	—	—	2,300,000	569,151
補正後の額	6,335,508	—	—	19,800	5,400,813	914,895

※機構より受領する補償金（九州新幹線西九州ルート農業用渇水対策施設維持管理費受入金）